

小委員会での意見一覧

「展示全体を通じたストーリー性、展示の配置や観覧動線」

社会情勢・現状展示の評価・課題	展示の方向性	展示の内容
<p>【市民参画】</p> <p>●民主主義は時間がかかるものである。</p>	<p>●展示作りに市民が参画する動きを取り入れる。</p>	
<p>【Bコーナー最後の永井隆博士に関する展示の配置】</p>	<p>●（原爆資料館開館後の平成12年に長崎市永井隆記念館が開館しているため）永井博士の重要な功績である著作や平和の思想を重点的に記念館の方で行うのも1つの判断と思う。</p>	

パブリック・コメント実施結果の概要

1 パブリック・コメント実施結果 概要

(1) 実施期間

令和5年12月11日から令和6年1月10日まで

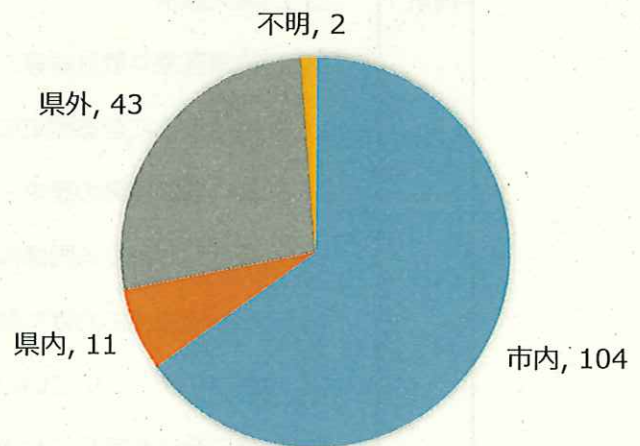
(2) 意見提出者数

○提出方法別提出者数

ホームページ	113名
ファックス	17名
メール	11名
郵送	9名
持参	10名
合計	160名

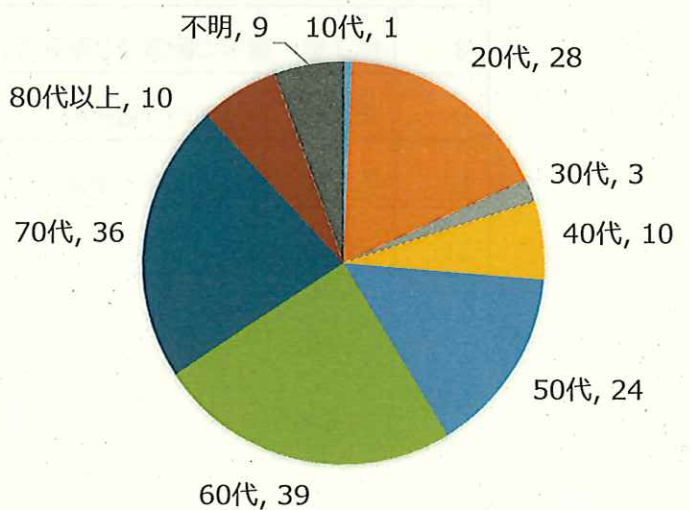
○地域別別提出者数

市内	104名
県内(市外)	11名
県外	43名
不明	2名



○年代別提出者数

10代	1名
20代	28名
30代	3名
40代	10名
50代	24名
60代	39名
70代	36名
80代	10名
不明	9名

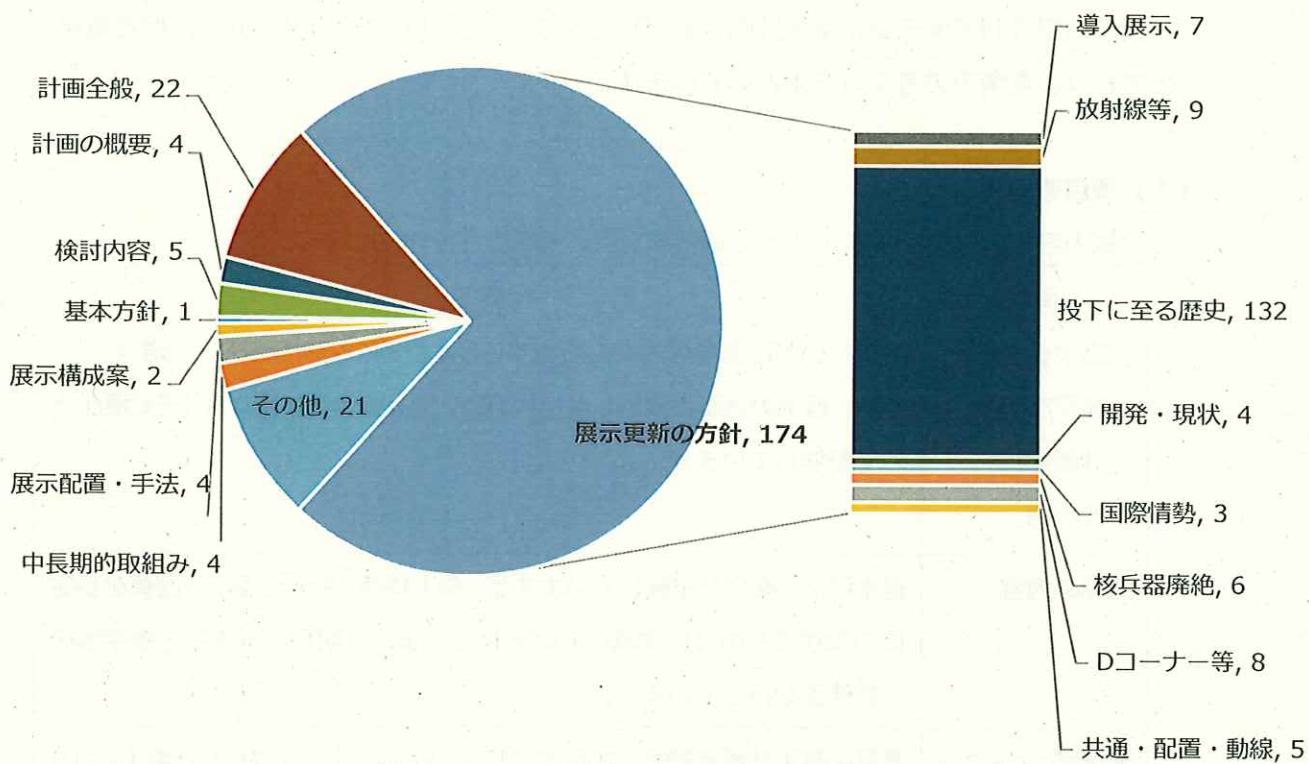


(3) 意見数及び意見の基本計画最終案への反映等

○意見数 237 件

○意見項目別意見数

意見項目の内訳		件数	該当 No.
1	計画全般に関する意見	22 件	No.1~22
2	第 1 章 長崎原爆資料館の概要	0 件	
3	第 2 章 基本計画の概要	4 件	No.23~26
4	第 3 章 長崎原爆資料館運営審議会 小委員会での検討内容	5 件	No.27~31
5	第 4 章 展示更新にかかる基本方針	1 件	No.32
6	第 5 章 展示構成案	2 件	No.33~34
7	第 6 章 展示更新の方針	174 件	No.35~208
内訳	1(1)導入展示	7 件	No.35~41
	1(2)被爆医療や放射線等に関する展示	9 件	No.42~50
	1(3)原爆投下に至る歴史に関する展示	132 件	No.51~182
	1(4)核兵器の開発の歴史・現状に関する展示	4 件	No.183~186
	1(5)核兵器をめぐる国際情勢に関する展示	3 件	No.187~189
	1(6)核兵器廃絶に向けた動きに関する展示	6 件	No.190~195
	1(7)D コーナー、いこいの広場等	8 件	No.196~203
	1(8)展示全体を通して共通する内容 展示の配置や観覧動線	5 件	No.204~208
8	第 7 章 展示の配置及び展示手法	4 件	No.209~212
9	第 8 章 中長期的な取組み	4 件	No.213~216
10	第 9 章 概算事業費と事業スケジュール	0 件	
11	その他	21 件	No.217~237



○意見の基本計画最終案への反映等 (分類)

A 意見の趣旨を基本計画最終案に反映する	9 件
B 意見の趣旨は、素案の方向性と同じ	14 件
C 今後の基本設計・中長期的取組みの検討において参考とする	195 件
D その他参考意見として伺う	19 件
合計	237 件

2 意見の内容と長崎市の考え方

長崎原爆資料館展示更新基本計画（素案）に対するパブリック・コメントにおける意見の内容及び長崎市の考え方をまとめています。

(1) 項目等の説明

記載内容については、次のように項目を分け、整理しています。

項目	説明
該当する箇所 章及び項目 計画全体 その他	いただいたご意見の内容に該当する基本計画の箇所を示しています。 なお、個別の箇所に該当しない内容は、「計画全体」または「その他」として整理しています。
意見の内容	基本的に、原文を記載していますが、個人情報、特定の個人・団体の特定につながるもの等は掲載していません。また、明らかな誤字・脱字等の一部修正を行っています。
最終案への 反映等	意見の基本計画最終案への反映等については、1－(3)の分類(A～D)をご確認ください。
長崎市の考え方	いただいたご意見に対する、長崎市の考え方を示しています。

なお、パブリックコメントの結果一覧は長崎市ホームページに掲載しています。

URL : <https://www.city.nagasaki.lg.jp/syokai/770020/721020/p000859.html>

二次元コード：



(2) 意見の趣旨を基本計画最終案に反映した内容

(パブリック・コメントのみ)

第6章 展示更新の方針1－(2)－イ－(工) 方針の追加

- ・「Bコーナー(被爆の実相)全体の見直しも見据えつつ、放射線の影響による社会的差別について展示する。」を追加する。

第6章 展示更新の方針1—(3)—イ—(ア)

・「歴史をきちんと見つめることが未来につながる、という姿勢に基づいて検討する」を「歴史をきちんと見つめることが未来につながる、という姿勢に基づいた展示とする」に修正する。

第6章 展示更新の方針1—(6)

・項目名「核兵器廃絶・核軍縮に向けた動きに関する展示」を「核兵器廃絶に向けた動きに関する展示」に修正する。

第6章 展示更新の方針1—(6)—イ—(ウ)

・「核軍縮に向けた取組みが続いていることを示すことで、未来への希望を持てるような展示とする」を「核兵器廃絶に向けた取組みが続いていることを示すことで、未来への希望を持てるような展示とする」に修正する。

第6章 展示更新の方針1—(7)—ウ 展示の主な内容に追加

・「長崎市の平和教育の取組み」を追加する。

(3) 原爆投下に至る歴史に関する展示に対するご意見について

今回のパブリック・コメントにおいては、「第6章 展示更新の方針1—(3) 原爆投下に至る歴史に関する展示」に対するご意見について、全意見の約半数を占める、多くのご意見をいただいておりますが、これらのご意見については、次のとおり統一した長崎市の考え方としています。

原爆投下に至る歴史に関する 展示についてのご意見	長崎市の考え方
	<p>原爆投下に至る歴史に関する展示については、令和5年度に開催した展示更新を検討する長崎原爆資料館運営審議会、同小委員会でのご議論、また、多くの市民団体等からも要望・申入れ等があり、今後も引き続き、公開の場において、慎重かつ丁寧な議論を積み重ねていく必要があると考えています。</p> <p>今回いただいた様々のご意見は、設計段階において参考とさせていただきます、さらに議論を深めてまいります。</p>

入館者向けアンケート（WEB）結果

長崎原爆資料館入館者（WEB）アンケート結果

常設展示に関して入館者向けにWEBアンケートを実施した。

集計期間	令和5年11月～令和6年2月
回答数	67

Q1	年齢等について
----	---------

小学生 (引率者の方に入力願います)	1
中学生	14
高校生	4
大学生及び20代	2
30代	8
40代	7
50代	14
60代	16
70代以上	1

Q2	お住まいについて
----	----------

長崎市内	1
長崎県内（長崎市外）	0
長崎県外	65
海外	1

Q3	観覧の回数について
----	-----------

はじめて	48
2回目	13
3回目以上	6

Q4	観覧時間について
----	----------

30分より短い	3
30分～1時間	36
1時間以上	28

Q5	原子爆弾に関して
----	----------

なにも知らなかった	1
広島と長崎に原子爆弾が投下されたことは知っていた	16
原子爆弾のことは、学校などで学んだことがあり、だいたい知っていた	34
自分で調べたり、勉強してきたので詳しく知っていた	16

Q6	印象に残った展示について
----	--------------

導入展示（永遠の11時2分、柱時計の展示）	21
Aコーナー（被爆前の長崎）	10
Bコーナー（原子野と化した長崎の街、浦上天主堂など）	32
Bコーナー（ジオラマ、ファットマン模型、被爆の実相、被爆者の訴え）	41
Cコーナー（原爆投下までの歴史、核兵器をめぐる国際情勢等）	16
Dコーナー（ビデオコーナー、Q&Aコーナー）	7

Q7	Cコーナーで最も印象に残った展示について
----	----------------------

日中戦争と太平洋戦争（戦争に関する年表、タッチパネルなど）	8
原爆投下への道（原爆開発と使用決定に至るまで）	32
現代の核兵器（世界の核兵器の数や核軍縮の取り組み）	10
核兵器の時代（核兵器をめぐる国際情勢など、壁面年表）	6
長崎から世界へ（長崎の取り組みや復興の歴史）	4

Q8	Cコーナーの観覧について
----	--------------

時間をかけて見ることができ、内容もよくわかった	25
時間がなく、あまり見るできなかった	20
Bコーナー（被爆の実相）までの見学で疲れてしまい、あまり見る気力がなかった	16
時間をかけて見たが、内容はよくわからなかった	2

Q9	Cコーナーの展示に関する課題について（複数回答可）
----	---------------------------

年表は、事実の列記のみでわかりにくい	9
パネルの説明文の内容が難しくわかりにくい	6
情報量が多すぎて（説明文が長い）わかりにくい	24
モニター（映像）の内容がわかりにくい	2
各展示が何を伝えたいのかわかりにくい	5
どのような順序で見ていいのかわからない	20
その他	4
特になし	17

自由記述

- ・時間がなかった
- ・気力が減少

Q10 展示を見ての感想・疑問について（複数選択可）

なぜ、原子爆弾が開発されたのか？	19
なぜ、原子爆弾を使うという決定がなされたのか？	26
なぜ、原子爆弾投下に至る戦争に突き進んだのか？	29
なぜ、核兵器は今もなくならないのか？	34
どうしたら、核兵器を廃絶できるのか？	32
その他	7

- 自由記述
- ・なぜ原爆は長崎に投下されたのか
 - ・事実の羅列が無難なのは理解するが市がどう思っているのか知りたい
 - ・日常の揉め事の究極の回避など考えた
 - ・もう少しグロテスクでも被爆後の生きる大変さを取り入れてほしい
 - ・核兵器を失くす訴えは理解できるが、一方で核の傘で庇護を受け発展してきた事実を無視してはいけないし、自虐的な目線ばかりを表に出すのもいかがかと思う。
 - ・なぜ太平洋戦争に至ったかを周知すべきである。

Q11 展示を見て、もっと知りたいことについて（複数回答可）

現存している被爆した建物など、周辺の前爆遺跡に関すること	37
市民レベルでの反核兵器・平和活動に関すること	18
被爆者の支援に関すること	20
世界の著名人などの核兵器に関する言葉	9
原爆資料館を訪れた著名人のメッセージ	18
他の来館者が展示を見て、どのように感じたのか感想やメッセージ	10
長崎のまちの復興のあゆみ	25
核兵器をめぐる最新の世界情勢	21
その他	3

- 自由記述
- ・米国の立場で、なぜ原爆投下判断になったのか知りたい

Q12 今後の展示に求めるもの（展示の手法）について

VRなどを使ったバーチャル体験（被爆の様子など）	21
プロジェクションマッピングなどの、壁面や模型に映像を映すもの	9
実際に触れられる模型	6
AIなどを活用して、被爆者などと会話できる展示	5
360度スクリーンによる映像（被爆後のまちの様子など）	18
イラストや図、映像などを使ってわかりやすく説明したもの	4
その他	3

- 自由記述
- ・実寸大で入れる、被爆後の地形を再現した街並み
 - ・漫画を用いる

Q13 バーチャルミュージアムについて

来館前に事前におおまかな内容を知るために利用したい	21
展示を見た後に、改めて内容を振り返るために利用したい	19
展示にはなかった、より詳しい内容を知るために利用したい	12
特に利用したいとは思わない	15

Q14 核兵器のない世界に向けて

個人ではどうすることもできないので、国レベルで決めていくべき	6
非常に複雑で、難しい問題であり、どうすべきかわからない	6
まずは、世界の多くの人々が被爆の実相、核兵器の問題を知るべき	41
展示を見て感じたことや知ったことを、身近な人に伝えたい	5
もっと、平和について何ができるか学びを深めたい	4
その他	4

- 自由記述
- ・自分事とするため、鏡の前に立つとケロイド化するARを置く
 - ・核兵器はなくなる